〔別表〕

平成２９年度全国学校保健・安全研究大会　課題別研究協議会

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第１課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育むための特色ある学校経営と組織活動の進め方	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	①　健康教育を中核とした学校経営の進め方について ②　保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③　学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第２課題	保健管理	生涯を通じて健康の保持増進を目指す学校、家庭及び地域との連携を図った保健管理の進め方	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	①　適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ②　ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③　感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第３課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方	自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	①　児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ②　心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③　学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第４課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方	近年、アレルギー疾患にかかる児童生徒の増加、性情報の氾濫、生活習慣の変化など、子供の現代的健康課題が多様化しており、これらの課題への適切な対応が求められている。 そのため、発達の段階に応じた保健活動の進め方について協議する。	①　学校においてアレルギー疾患に適切に対応するための保健活動の進め方について ②　発達の段階に応じた性に関する指導の進め方について ③　生涯にわたる健康の保持増進につながる生活習慣づくりについて
第５課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方	生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	①　歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ②　各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③　学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第１課題	学校経営と保健組織活動	① 長野県長野市立戸隠中学校 前校長 岡本 伴子	○講 師 宇都宮大学 名誉教授 和唐 正勝 ○指導助言者（コーディネーター） 広島県教育委員会スポーツ振興課 課長代理 黒田 康弘
		② 三重県四日市市立河原田小学校 教諭 甫本 創太	
		③ 福岡県立八女高等学校 教諭 吉岡 千恵子	
第２課題	保健管理	① 三重県松阪市立豊田小学校 養護教諭 小倉 裕子	○講 師 公益財団法人 日本学校保健会 専務理事 弓倉 整 ○指導助言者（コーディネーター） 岩手県教育委員会保健体育課 指導主事 高橋 雅恵
		② 名古屋市立若葉中学校 養護教諭 多田 実香	
		③ 信州大学教育学部附属特別支援学校 養護教諭 下村 智恵子	
第３課題	心の健康	① 山梨県山梨市立山梨南中学校 養護教諭 原 ゆほ	○講 師 関西学院大学 教授 井出 浩 ○指導助言者（コーディネーター） 滋賀県教育委員会保健体育課 主査 住吉 由加
		② 埼玉県幸手市立八代小学校 校長 鈴木 美江	
		③ 三重県立桑名北高等学校 教諭 向井 典子	
第４課題	現代的健康課題	① 新潟市立鏡淵小学校 養護教諭 奈良 広美	○講 師 東京女子医科大学 教授 林 和彦 ○指導助言者（コーディネーター） 愛媛県立伊予高等学校 教頭 西尾 しき
		② 三重県立白山高等学校 養護教諭 水谷 さとみ	
		③ 富山県南砺市立福野中学校 養護教諭 木村 千春	
第５課題	歯・口の健康づくり	① 三重県立聾学校 養護教諭 山中 千聡	○講 師 日本歯科大学 教授 福田 雅臣 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都教育庁地域教育支援部 歯科保健担当課長 山田 善裕
		② 岩手県二戸市立福岡中学校 校長 佐藤 順 養護教諭 馬場 美沙紀	
		③ 福井県福井市社北小学校 養護教諭 藤田 希代子	

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。 そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。	① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について ② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について ③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。 そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。	① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について ② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について
第8課題	学校事故防止対策	事件・事故災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。 また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。	① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について ② 事件・事故災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について ③ 事件・事故災害発生時の適切な対応の在り方について
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。 そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。	① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について ② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について ③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。 そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。	① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について ② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について ③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第6課題	学校環境衛生	① 山口県立山口高等学校 養護教諭　久保　明子	○講　師 岐阜薬科大学 教授　永瀬　久光 ○指導助言者（コーディネーター） 栃木県教育委員会健康福利課 主査　飯島　宣幸
		② 名古屋市学校薬剤師会 会長　山口　一丸	
		③ 三重県伊賀市立島ヶ原中学校 教頭　藤山　秀公	
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	① 静岡県立静岡商業高等学校 養護教諭　杉山　祐美	○講　師 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所　薬物依存研究部 心理社会研究室 室長　嶋根　卓也 ○指導助言者（コーディネーター） 愛知県立鳴海高等学校 教頭　丸山　洋生
		② 三重県伊勢市立倉田山中学校 教諭　多田　ちか	
		③ 広島市立可部小学校 主幹教諭　津島　正司	
第8課題	学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校安全部安全支援課 課長　米山　尚子	○講　師 東京女子体育大学 教授　戸田　芳雄 ○指導助言者（コーディネーター） 長崎県教育庁体育保健課 体育指導監　後藤　慶太
		② 三重県津市立高茶屋小学校 校長　伊庭　正彦	
		③ 愛知県立一宮南高等学校 教頭　米本　かおり	
第9課題	教科等における安全教育	① 石川県立羽咋工業高等学校 （元　石川県立金沢北陵高等学校） 教諭　福井　勉	○講　師 岩手大学 准教授　森本　晋也 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都教職員研修センター 企画部企画課長　児玉　大祐
		② 三重県鈴鹿市立鼓ケ浦中学校 教諭　服部　文哉	
		③ 福岡県福津市立津屋崎小学校 校長　田渕　聡 教諭　早川　博史	
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 山口県下松市立久保小学校 校長　大田　典子	○講　師 大阪教育大学 教授　藤田　大輔 ○指導助言者（コーディネーター） 大分県教育庁学校安全・安心支援課 指導主事兼課長補佐 田崎　弘宣
		② 岐阜県各務原市立那加中学校 教頭　小嶋　隆弘	
		③ 三重県尾鷲市立尾鷲小学校 教諭　稲葉　武彦	